

わらんべ田の田植え、稲刈り



支援米発送式

福井市岡保小の児童が5日、飢餓に苦しむ西アフリカ・マリの子どもたちを支援しようと自分たちが育てた米を贈った。児童たちは米が積まれたトラックを手を振り見送った。

「食と環境・農業を守る県行動委員会」が毎年県内の個人や団体から協力を募り、今年で28回目。今回は岡保小の90キロと寄付金は

みんなで読もう

飢餓のマリへ支援米届け

岡保小児童 計810キロ発送



育てた米を積んだトラックを見送る児童 = 5日、福井市岡保小

で購入した米、計810キロが集まった。岡保小では2005年から、体験学習で作った米の一部を贈っている。今年には3、6年生71人が、地域の人の助けを借りながら田植え、稲刈りをした。宮川結衣さん（6年）は「みんなで育てたお米をマリの人々が笑顔で食べているのと思うと明るい気持ちになる」と話した。

支援米は、東京のボランティア団体を通じて現地向け届けられる。（西商業愉）

